

令和 3 年度第 9 回学校運営協議会議事録

令和 4 年 1 月 20 日（木）15：00～17：00

1. 1 分間近況報告

2. 書き初め展、今年の漢字参観

3. 全体共有事項

(1) 12 月の会議の議事録確認

(2) 杉十フレンズ活動報告

- ・漢字検定…約 180 名の申込。欠席の人は来年度への繰り越し受験を可能とする。感染対策を講じて実施予定。
- ・新 1 年生学級文庫への絵本の寄付（122 冊）。

(3) 学校関係者評価

①教育調査の結果と考察（中間報告）。

②学校評価まとめ（教員による自己評価）、学校経営計画に即した評価

- ・学校経営計画は地域や保護者の方と一緒に推進することができた。
- ・杉十小の特色をよく理解してもらえている。
- ・コロナによる制限も多く、出来なかったところの評価が低くなっている。
- ・特別支援教育へのコンセンサス不足。

③教育課程の 2 期制についての意見

まずは 3 期制のまま、あゆみの所見を 1 学期は無くし、個人面談で話すのはどうか？

小中連携の杉三小・高南中など周辺と合わせることが必要。

地域のイベントも合わせていかないと。

周知徹底など時間をかけて変えていく必要がある。

3 期制が定着しているので、保護者の抵抗感は強いかもしれない。

2 期制のデメリットと言われていることがそんなにデメリットになるのか疑問。

子どもにとっては、学期ごとに気持ちを切り替えるチャンス。チャンスがあることは大事。

2 期制にすることで先生の負担が減るのであれば検討の余地がある。

2 期制にする理由が、先生が忙しいから時間を作りたいということではなく、そうすることによってどんな素晴らしいことが起こるか、よい学校になるかということを保護者に話していけたらいい。

(4) 杉十 2021&2022 今年の漢字大賞

- CS 委員全員がそれぞれ漢字を選ぶ。
- スピーチを考える（自分の名前、選んだ字、作者・理由、選んだわけ）
- 動画撮影 → 1/24 の朝会で放映

(5) かがやき通信 vol.5

- ページレイアウト、掲載項目の確認。
- 3 月に配布予定。

(6) その他

- 卒業式
- 杉三小研究発表会
- 朝日新聞の取材

(7) 協議会会長より

できることをやっていく。子どもの学びを止めないように考えを出し合うことが一番のポイント。
自分もそうだが、関心のあることに夢中になることは大事なこと。将来につながる。
「超かがやき」の時間を企画・実行して、今年も楽しくやっていきたい。

以上